

§16 増える

課題文

日本を訪れる外国人観光客が年々増えている。

【頻出表現】 増える (⇒『文法矯正編』p.294)

- ① **More and more people**

do ~	〈現在形 ④ 状態動詞〉
are doing ~	〈現在進行形 ④ 動作動詞〉

There are more and more people who do ~

- ② **The number of people who ~ is increasing** 《文》 ④ 統計値があるとき

increase の基本的意味は“ふくらむ”と覚えておきたい。よって、People are increasing. と書くと、「人間がふくらみつつある」となってしまう、おかしいとわかる。「ふくらむ」のは「人間」ではなく「数」である。よって、increase を使う場合は **number** という単語を添えなければならない。ただし、number という以上は文字通り「数」を把握していることが条件である。つまり、**統計値がある事柄しか使えない**。本問の場合、「日本を訪れる外国人観光客」の数は外務省が把握しているだろうから使える。とは言え、これはやや堅い文語体である。この点、**more and more** という表現は口語体であり、統計値のあるなしに関係なく使えるので便利だ。これを主語にする場合、**状態動詞なら現在形**を、**動作動詞なら現在進行形**にするのが原則である。

【表現研究】

- 年々 (⇒p.139、170)

every year が万能に使える。**year after year** 「来る年も来る年も」は変化がなく単調な感じ。**year by year** 「年々」は変化があるときに用いる。

【英訳例】

- (A) Every year more and more foreign tourists are visiting Japan.
 (B) More and more visitors are coming to Japan from other countries every year.

【類題】(解答p.70)

16. 「英会話を勉強しにアメリカに行く日本人学生が増えている」

§17 ~に...しに行く

課題文

私はおととしの夏、江ノ島に海水浴に行った。

【頻出表現】 ~に...しに行く

- ① **go fishing in the river** 「川に魚釣りに行く」
 ② **go skating on the lake** 「湖にスケートしに行く」
 ③ **go shopping at the store** 「店に買い物に行く」
 ④ **go hiking in the mountains** 「山にハイキングに行く」
 ⑤ **go skiing on Mount Zao** 「蔵王にスキーに行く」

上記が「~に...しに行く」の主なパターンである。いずれも、「~に」を to ~ と訳していないことに注意だ。to の特徴は“途中のプロセスまで含む”ことにある。go fishing to the river と言うと、喋っている地点から川まで釣竿を垂らしていることになる。おそらく挙動不審で警察に尋問されるだろう。「魚を釣る」のは「川の中で」であるから in the river が正しい。本問も、「泳ぐ」のは「江ノ島で」ということになるから in Enoshima となる。地名にはふつう in を用いる。go swimming to Enoshima と言うと、この文を喋っている地点から江ノ島まで泳ぐことになってしまう。ふつうは泳ぎ疲れて途中でくたばるだろう。ただし、go to Enoshima to swim の語順なら to で問題ない。②のスケートの場合は氷の上を滑るから on、③「店」の場合は at、④の the mountains 「山系、山脈」は in、⑤の「蔵王」のような単発の山は on である。

【表現研究】

- おととしの夏

two summers ago / the summer before last が正しい。

【英訳例】

- (A) I went swimming in Enoshima the summer before last.
 (B) I went to Enoshima to swim two summers ago.

【類題】(解答p.71)

17. 「再来年の冬に蔵王にスキーに行くつもりだ」